

令和6年度第1回栗橋公民館運営審議会開催結果

- 1 日 時 令和6年5月28日（火）13時30分～14時15分
- 2 場 所 橋野ふれあいセンター 会議室
- 3 出席委員 5名
川崎悦三郎委員長、小笠原春美委員、川崎通委員、八木澤江利子委員、八幡裕子委員
- 4 欠席委員 2名
八幡和郎副委員長、遠藤朱実委員
- 5 事務局等 まちづくり課 佐藤課長、小池主査
栗橋公民館 二本松公民館長、佐々木係長
- 6 傍聴者 なし
- 7 結 果 二本松館長が開会を宣言した後、まちづくり課佐藤課長及び川崎委員長の挨拶に続き、事務局から令和6年度釜石市立栗橋公民館運営計画について説明。質疑応答の後、6年度運営計画は事務局提案のとおり承認された。

【主な発言等】

- 〔議 長〕 新規の事業だが、食育の関係で蕎麦打ち体験がトマト栽培に変わったのと、ぴんしゃん活動が橋野だけだったのが栗林も加えて両方でやるということ、あと片羽（葉）山登山。無くなったのは、干し柿作りか。
- 〔館 長〕 干し柿づくりは、周知しても人が集まらなかったため。皆さん、ご自宅でやっているということで。
5月30日の栗林小でのすずこまの定植は予定どおりで大丈夫だろうか。
- 〔委 員〕 予定どおり。プランターに10株ほど植える。子ども達も10人くらい。
- 〔委 員〕 先日、久しぶりに公民館の心肺蘇生法講習会に参加した。参加者の中で自分は若い方なので大丈夫と思ったが、年配の人の方が上手だった。地域の方々の連携プレーにも感心させられた。
- 〔委 員〕 私も参加したことがあるが、結構体力を使う。やはり役割分担が大切だと思う。
- 〔課 長〕 繰り返しやって忘れないためにも、継続してやる事業の一つだと思う。
- 〔議 長〕 100歳体操などでも集まっているので、そういう単位でも勉強していけば良いと思う。
- 〔館 長〕 懸案事項というか、AEDは橋野地区だと生活応援センターにのみ1台しかなく、休みの日とか鍵を掛けている時は使えないのでどうにかならないか検討した経緯がある。
- 〔委 員〕 栗林小には校舎と体育館に二つある。体育館は、休みの日はスポーツ少年団に開放しているので開放中であれば大丈夫だが、そうでない時に地域住民の方が、となるとやはり鍵が閉まっているので難しい。近所の方が一応鍵は預かってはいるが。
- 〔議 長〕 絶対的に数が足りない。
- 〔館 長〕 昔は消防屯所にもあったが、パッドとかの期限が切れて更新しないままになったようだ。
- 〔課 長〕 モノ自体も高価だが、使わなくてもバッテリーとかの更新も高価で、今のところは学校

とか公共施設に重点的に置いているようだ。例えば体育館の軒下にセットするような外付けのボックスみたいな物もあるが、それを設置するとなるとかなり伴うものが出てくる。

〔議 長〕 今のところは、AEDは無いものと思っていなければならない。

〔委 員〕 私も山の方に住んでいるので、心肺蘇生法はとても大事だと思う。

〔議 長〕 「手話に親しもう」というのは、固定的なメンバーか。

〔館 長〕 前は栗林小で手話の講座をやっていたが、学校行事として出来なければ地域住民を対象にしようかと考えている。

〔議 長〕 これも良いきっかけづくりになる事業だと思う。

〔委 員〕 毎年行っている和山植樹だが、大型連休最終日に父親部の10数人の皆さんに下草刈り作業をしていただき本番当日を迎えた。笹の根がすごくて毎年ほぐすのが大変だったが、建設業の会員の方が柔らかい土を大量に運んでくださり土を被せるのが楽だった。一昨年植えたところがシカとかに食べられて、今回はそこにまた60本植えたが、今回は土が柔らかいので今まで以上に根付くのではと期待している。

〔館 長〕 この活動は橋野小学校からずっと続いている事業で、過去には総理大臣賞をいただいたとのことだ。

〔委 員〕 昨年度は釜石市から海の日実行委員会賞をいただいた。和山にお住いの観光協会にお勤めだった方が栗林小を推薦してくださった。

〔課 長〕 そういう情報があれば庁内にも知らせるので教えてほしい。

〔委 員〕 栗林小の地域学習で、令和元年度に何か所か回った。そこからコロナで3年くらい中断し、4年度は栗林銭座跡、5年度は世界遺産の高炉跡、今年はどこが良いかまだ役員会に諮ってないが、何か教えてもらえればありがたい。

〔議 長〕 例えばこの地区だと、巨木巡りなんかも良いと思う。

〔館 長〕 御神楽(オカグラ)杉は行ったことがあるだろうか。昨日のわらび狩りの帰り、鶴住居の方々に見せたくて古里まで行ったが、大変感激された。

〔議 長〕 市の指定する天然記念物の巨木のうちの5本が栗橋地区にある。

〔委 員〕 1時間半くらいのコースで見られるだろうか。

〔館 長〕 バスでも大丈夫だと思う。

〔委 員〕 地元の観光ガイドにも、文化財とかにすごく詳しい方がいる。

〔委 員〕 リフレッシュヨガ体験の講師は、専門的な先生になるか。

〔館 長〕 ずっとやってきた先生が講師になる。以前にやっていたが、コロナで中断して久々の再開となる。今はいろんなものがある時代で、他の公民館でやっている良い事業を見て自分たちもやってみようかと試みたりするが、地域の特性などでこの地区にはなじまないものもあると感じている。前委員長には、栗橋地区の人たちは出て来ないと言っても遊んでいるわけではない。自分たちで畑を作ったり、何か活動したり事業をやったりとかしているので、そういうのも尊重するという考えも持ってほしいという話をいただいていた。

〔課 長〕 自主活動の数は、他地区から見ると9団体と少ない。釜石地区は60から70あったり、小佐野でも40とかある。ただ、一団体に所属する会員数が全然違って、例えば沢田の百

歳栗楽部(クラブ)は43人とか、他地区は5人くらいの団体が何十とある。そういう意味で、単純に団体数が多い少ないでは比較できない。結構皆さん集まってやっているという感じは数字からもわかるし、地域性も当然ある。皆さんが集まる場があるというのはとても良いと思う。この地区で3つ新しい事業を起こすのはすごく積極的にやっている。自分も数年前まで小佐野の館長をしていたのでわかるが、評価できると思う。干し柿づくりの取りやめはしょうがないと思うが、例えばこの人が講師になって鶴住居地区に教えに行くとか、他地区との交流としても良いのかなと思う。

〔議 長〕 他に無いようなので、以上で協議を終了する。

〔館 長〕 本日皆様からいただいた意見を参考に、今年度も事業を頑張っていくので、ご支援ご協力をお願いしたい。以上で、令和6年度第1回栗橋地区公民館運営審議会を閉会する。